

平成28年度病害虫発生予報第10号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病	並	並
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	やや少	やや少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや多	やや多
	コナジラミ類	やや少	やや少
トマト	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類	並	並
たまねぎ	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病 (注意報第5号継続)	多	多
	アブラムシ類	やや多	並
	ハダニ類 (防除情報第14号)	やや多	やや多
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並
	コナガ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の () 内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は1.1%(1.2%)、発生圃場率は25.0%(27.0%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は1.5%(2.6%)、発生圃場率は41.7%(41.0%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.6%(1.1%)、発生圃場率は8.3%(16.0%)であった。

4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率0.0%)。

5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.7%(0.6%)、発生圃場率は50.0%(16.3%)であった(図)。

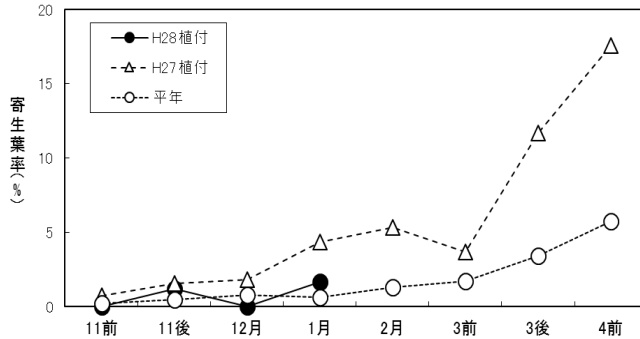


図 きゅうりのアザミウマ類 寄生葉率の推移

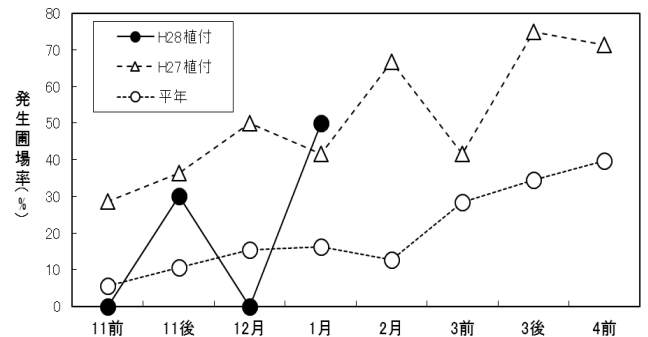


図 きゅうりのアザミウマ類 発生圃場率の推移

(3) 防除上すべき事項

薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

7. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率1.1%、発生圃場率29.5%)。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.04%(0.3%)、発生圃場率は16.7%(21.9%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、果実では発生を認めなかった(発生を認めない)。葉での発病葉率は0.5%(前年0.6%)、発生圃場率は25.0%(前年25.0%)であった。

3. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.8%(過去6ヵ年0.6%)、発生圃場率は25.0%(過去6ヵ年27.1%)であった。

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.0%、発生圃場率0.8%)。

2. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は10.9%(12.2%)、発生圃場率は53.0%(55.2%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.2%、発病果率0.0%、発生圃場率6.0%)。

2. 灰色かび病

平成28年12月26日付け**病害虫発生予察注意報第5号**を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.1%(0.0%)、発生圃場率は44.4%(6.5%)であった(図)。

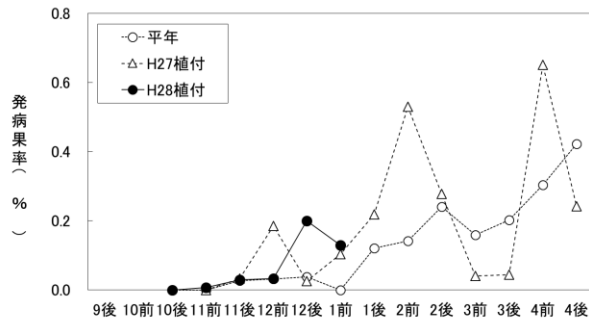


図 いちご 灰色かび病(果実) 発病果率の推移
平年:H18~H27の平均値(最大・小値除く)
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

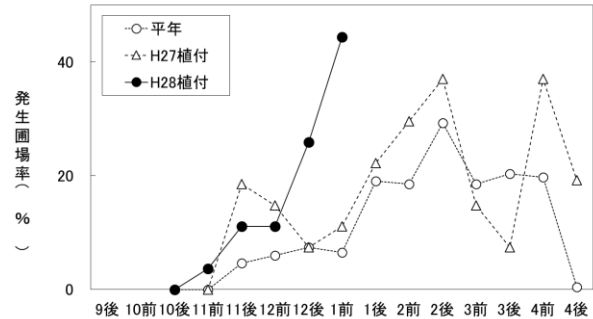


図 いちご 灰色かび病(果実) 発生圃場率の推移
平年:H18~H27の平均値(最大・小値除く)
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.8%(1.1%)、発生圃場率は25.9%(11.3%)であった。

4. ハダニ類

平成29年1月17日付け**病害虫発生予察防除情報第14号**による。

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(11筆)の結果、発病株率は4.9%(過去9ヵ年平均4.4%)、発生圃場率は36.3%(同15.6%)であった。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(過去9ヵ年平均発病株率0.9%、発生圃場率3.2%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(過去9ヵ年平均寄生株率3.6%、発生圃場率23.3%)。

【参考】

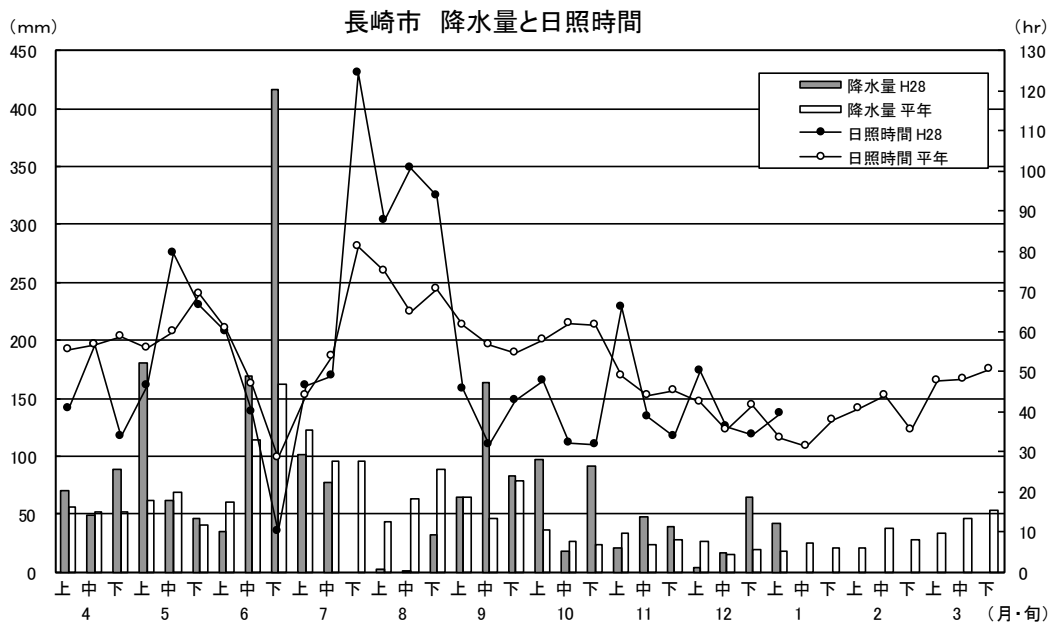
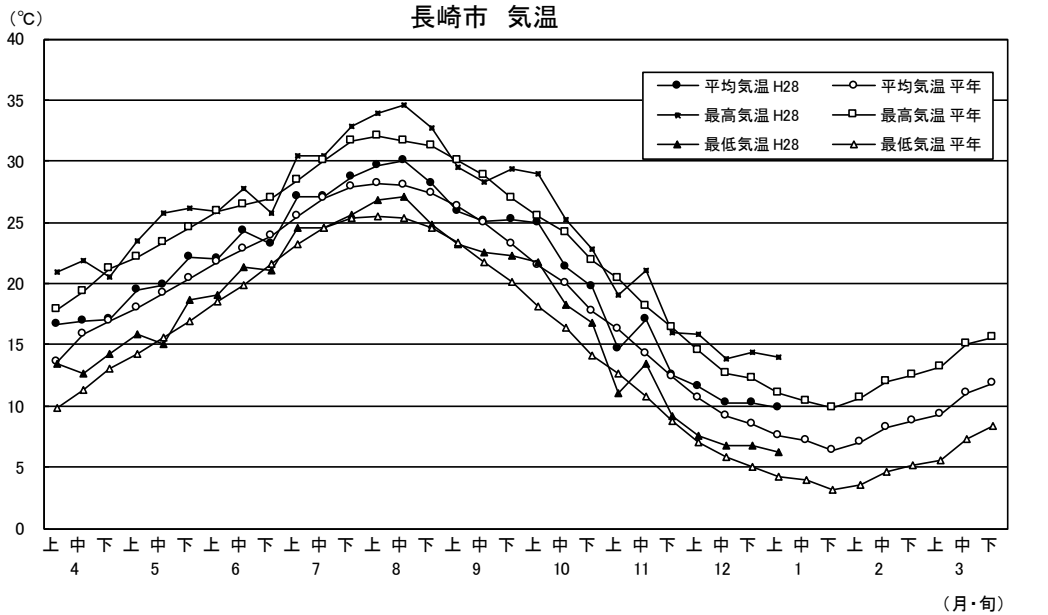
気象 (平成29年1月12日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	40	20
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

※予報対象地域：九州北部地域

平成28年度の気象経過 (長崎地方気象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

